

重点施策		社会教育施設の整備充実		評価実施者		所 属	社会教育課
				職・氏名		課長 景由隆寛	

重点施策の概要	目 的	市民の社会教育活動を支える施設を整備するとともに、今後の人口規模や利用状況に照らし合わせた社会教育施設の配置計画を策定し、継続した社会教育活動が進められる環境づくりに取り組みます。					
	今年度の主要事業	①社会教育施設を含めた「滝川市公共施設マネジメント方針」の策定 ②総合福祉センターの閉館					

事業の目標と実績	区 分		単位	H23	H24	H25	特記事項 該当施設：総合福祉センター、文化センター、青年体育センター、スポーツセンターの耐震調査は終了	
	1	社会教育施設の耐震化	目標 実績	%	100 0	100 0		100 0
	2		目標 実績					
	3		目標 実績					
	4		目標 実績					
	5		目標 実績					

事業の分析 効果の検証	①社会教育施設を含めた公共施設マネジメント方針策定にむけての協議に参加し、今後の施設のあり方についての考え方をまとめた。	
	②総合福祉センターについては、耐震化工事と大規模改修の費用として10億円が必要であることと、まちづくりセンターや駅前ひろばく・るなど、社会教育活動の代替施設が整備されていることから、ボイラー設備の老朽化による突発的な停止を避けるため、平成26年3月31日をもって廃止した。廃止にあたっては、利用者には4月に2回、入居者には個別での説明を行い、理解を得た。	

課題	①社会教育施設の耐震化・大規模改修については、補助金など予算確保に努めながら作業を進めていく。	
	②総合福祉センターの閉館により、市民の社会教育活動が停滞してしまうことのないよう、活動場所の情報提供など支援を行う。	

評価	B	評価の視点1 期待どおりの効果があったか 社会教育施設のあり方についての方向付けができ、今後の整備充実のあり方が見えてきたことは評価できる。
		評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 市が策定した公共施設マネジメント方針を基本にしながら、必要な社会教育施設の役割・機能を維持できる施設整備を今後も進めていく。

【評価の区分】

A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する

B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある

C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。

D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	体育施設では青年体育センター・スポーツセンター、文化施設では、文化センターの耐震化の方針・スケジュールについて、スピードを上げて決定していく。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☒ スピードアップ ☐ 検証 ☐ 継続
-----------	--

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	市民の方が使いやすいような施設にしてほしい。 施設は集約されたが、閉館したものは仕方ないと理解しているが、代替の場所を望む。
---------------	---